

# 国際政治

59

## 非国家的行為体と国際関係

日本国際政治学会編

|   |                      |
|---|----------------------|
| 非国家的行為体と国際関係<br>——序論——                                | 馬場伸也                 |
| 中世日本における文化的・政治的統合<br>——文化運搬者としての連歌師宗祇をめぐって——          | 平野健一郎                |
| 1920年代におけるアラブと国際関係<br>——主にアヤ・デ・ラ・トーレの活動を中心に——         | 野谷文昭                 |
| PLOとその問題性<br>——その問題解決アプローチが意味するもの——                   | 浦野起央                 |
| ケベック州の国際活動  | 伊藤勝美                 |
| 市民運動のトランズナショナルな連携の構造<br>——各国反原発運動間のコミュニケーションの発展を中心に—— | 砂田一郎                 |
| ECにおける政策決定<br>——共通農業政策形成をめぐる政策決定過程と委員会の役割——           | 南義清                  |
| 欧州議会と国際政党   | 中原喜一郎                |
| <hr/>   |                      |
| <交換論文>  |                      |
| 汎ヨーロッパ国際関係に対する地域統合の対外的効果<br>——不平等、従属、分極、対称——          | ゼームズ・A・カポラーソ<br>南義清訳 |
| <hr/>   |                      |
| <書評>  |                      |
| ロバート・O・コハン、ジョセフ・S・ナイ共著<br>『パワーと相互依存』                  | 大隈宏                  |
| 岡部達味編『ASEANをめぐる国際関係』                                  | 矢野暢<br>山影進           |
| 永井陽之助、入江昭共編<br>『アジアにおける冷戦の起源』                         | 宮里政玄                 |
| 細谷千博、綿貫謙治編『対外政策決定過程の日米比較』                             | 大熊忠之                 |

1978年刊No. 1